

多文化チームワーク 講座概要

多文化チームで働くメンバーは、しばしば、異文化のメンバーの言動を理解するのに苦労します。その結果、そのメンバーに対する否定的な認識や期待が生まれ、異文化間の対立が生じ、チームの有効性が大幅に低下することがよくあります。本講座では、参加者が文化の違いを理解するだけでなく、異文化の人々とよりよく働き、この多様性の中から相乗効果を見出すのに役立つツールを練習することができます。

講座で紹介される文化のトリプルズーム・フレームワークは、参加者がグローバル、カントリー、ミクロの視点から文化を見ることができるようになります。このアプローチでは、多様な文化を理解するために、各視点レベルで使用できるさまざまなツールや研究結果を共有します。このツールは、文化の壁を越えてシナジーを発揮できる異文化間問題解決のために、適宜選択し、活用することができます。

受講対象者

- グローバルチームのメンバーで、定期的に他国の人と仕事をする方
- 海外で新しい文化圏で仕事をする駐在員の方
- 現地で他国出身の同僚と一緒に仕事をする方
- 営業、マーケティング、購買、研究開発などの部門で、海外の顧客、同僚、サプライヤー、その他のパートナーと仕事をする方
- 特定の機能またはビジネスユニットの海外オフィスを監督する管理者の方
- 実践的な異文化対応力を身につけたいと考えている学生の方
- 社員の異文化対応力を高めたいと考えている人材育成担当者の方

本講座を受講すべき理由

- 自分自身の文化的価値観や偏見が、考え方、コミュニケーション、行動にどのように影響しているかを理解することができます。
- 他国のコア・バリューがどのように自分と異なり、誤解や対立を生むかを学びます。
- 様々なレベルでの文化の違いを分析し、異文化間の問題を解決するためのフレームワーク、ツール、スキルを学びます。

- チームの異文化多様性を活用し、1つの文化圏のメンバーだけでは達成できないような相乗効果やパフォーマンスを引き出す方法を学びます。
- 他国の同僚とよりよく働くための個人的な行動計画を職場に持ち帰ることができます。
- コース修了時には、多文化チームワークの認定証を取得することができます。

学習内容

- (1) 文化のトリプル・ズーム・フレームワーク概要
- (2) 多文化チームワークのための DIS スキルの開発
 - Diversity 多様性の尊重
 - Inclusion インクルージョンの実践
 - Synergies/Solutions 相乗効果・解決策を生み出す
- (3) 多文化チームワークとファシリテーションのガイドライン
- (4) グローバル・ズーム：文化の次元
 - ホフステードの文化の6次元モデル
 - トロンペナーの7次元
 - エリン・メイヤーのカルチャーマップ
 - GLOBE プロジェクトの文化の次元
 - 文化の次元による異文化間問題解決フレームワーク
- (5) カントリー・ズーム：国のコアバリューとライフスタイル
 - Cultural Detective シリーズ
 - Culture Smart シリーズ
 - カントリーコア・バリューを用いた異文化間問題解決フレームワーク
- (6) ミクロのズーム：個々の文化現象を理解する
 - より深い文化理解の必要性
 - TCI (トランスカルチュラル・インサイト) メソッドによる深い文化的コードクラッキング
- (7) 個人的な行動計画

学習方法

- 本講座は、組織のニーズに合わせて、対面式、オンラインライブ、ハイブリッド、オンデマンドのビデオ形式で、内容やスケジュールをカスタマイズして提供することができます。
- より深く焦点を当てる対象国は、お客様が選択します。
- 講座全体を通して、講師が各ツールの事例をわかりやすく紹介し、ツールを応用するためのガイドラインを豊富に提供します。
- 本講座では、紹介されたツールを、実際の問題やミニケーススタディをグループで応用し、講師や参加者からのフィードバックが十分に得られます。
- 講座は、英語、日本語、ポルトガル語で実施されています。
- ライブのオンラインコースやハイブリッドコースでは、Miro オンライン・ホワイトボード・プラットフォームを、Zoom（またはお客様が指定する他のビデオ会議プラットフォーム）と組み合わせて、カスタムテンプレートで使します。
- 講座を、追加ツールや追加モジュールを含めることで強化することができます。
 - 異文化問題に対する数多くの解決策の代替案を創出するために創造的問題解決法のツール
 - 特定の国におけるグローバルリーダーシップスキル
 - 特定の国の市場に関するインサイト開発

講師について

ヘンリー・アンダーセンは、明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科の元教授で、グローバルマネジメントを担当していました。現在は、米国にある自身の会社 TDA Associates で、創造的問題解決法、多文化チームワーク、顧客インサイト、賢慮の思考スキル、グローバル・ウイズダム・リーダーシップなどの講座を教えています。

コンサルタントとして、コカ・コーラ、ユニリーバ、ネスレ、フィリップス、ファイザー、米海軍、マツダ、三菱、東芝、キリン、住友といった4大陸の企業のイノベーション能力構築を支援してきました。

学問とコンサルティングの前は、ソニー・ピクチャーズ、三菱重工業、スコット・ペーパー（現在はキンバリー・クラークの一部）などの企業で、米国、日本、ブラジル、英国、オランダを拠点としながら、国際マーケティング、戦略、イノベーション担当役員として活躍しました。

ハーバード大学で日本文学の学士号、コロンビア大学でジャーナリズムの修士号、フランスの INSEAD でマーケティングの MBA を取得しています。

アンダーセンは、三菱重工に在籍中、同社が直面する技術的課題とマーケティング課題の両方を解決するために、Transdisciplinary Analogy (TDA) と呼ばれる独自の創造的思考法を開発しました。また、本講座で使用するトランスカルチュラル・インサイト (TCI) という手法も開発しました。彼の方法論は、国際的なビジネス誌や学術誌で紹介され、6カ国語以上で出版された創造性とイノベーションに関する数多くの書籍に掲載されています。

詳細については、お問い合わせください。

ヘンリーアンダーセン

TDA アソシエイツ創業者兼社長

メール: henry.andersen@tdaassociates.com

電話: +1-949-353-9947

ウェブサイト: <https://tdaassociates.com>